

充電は、EV を使う上でガソリン車と大きく異なる作業で、EV を使って業務を行う上では、日々の使用に耐える実用性と、稼動パターンとの関連がキーになると考えました。

簡単、静か

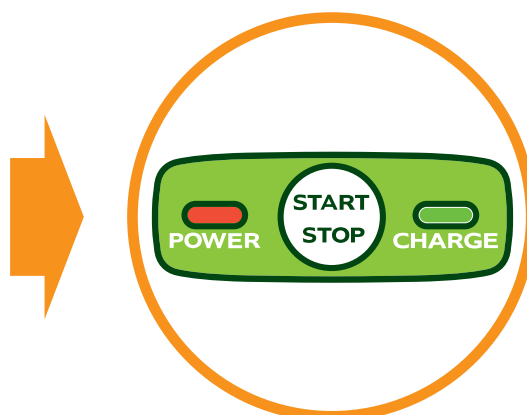
EV-neo は、可能な限り充電作業を 簡単・便利・短時間 で出来るよう設計をしました。

充電の仕方は、充電器から出ている 2 本のコードを、それぞれ、建物側のコンセントと車両側の充電用コネクタに接続し、あとは充電器のスタートスイッチを押すだけの簡単操作で充電が開始し、満充電になれば自動で充電を終了します。充電状態は充電器上面のインジケータで確認できます。

■EV-neo 専用 充電器



■充電器上面インジケータ



EV-neo の充電用コネクタは、車体左側に配置しました。このコネクタは、二輪車の車体サイズに見合う小型なものとし、抜き挿しの耐久性も高めるよう専用開発しました。また、コネクタ部を保護するためにボディ部にリッドを設け、その内側にコネクタを配置しました。そのリッドには、ロック機構を設け、いたづらを抑止する安心設計としました。

■ボディ左側面配置 充電用コネクタ



■ロック機構



EV を導入する動機として「近隣に対する騒音への配慮」も想定し、EV-neo は、充電時の騒音にも配慮しました。急速充電器・普通充電器共に、騒音レベルは 45dB 以下※の静音設計としました。

※概ね「静かなオフィスレベルの騒音」が目安になります。